

ゆめ

さくら

夢咲楽

わ わ わ つ っ しん

～和輪話通信～

目次	■和輪話隊(わわわ隊)活動の紹介……………1	■マスミLABOの情報モラルワンポイントアドバイス……3 「SNSグループ内トラブルの巻」
	■わわわ隊の「め」……………2	■青少年センター1年間の活動を振り返る……………4



栃木県発達障害者支援センターふぉーゆう



宇都宮市子ども発達センターここ・ほっと

視察研修に行ってきました

1月22日、「栃木県発達障害者支援センターふぉーゆう」と「宇都宮市子ども発達センターここ・ほっと」を訪問し、発達障害の特性への基本的な理解と求められる支援について学びました。

視察研修では講話だけでなく、利用している子どもたちや、職員の仕事内容を実際に見聞きし、「発達障害は、診断名が同じでも特性の現れ方は一人ひとり異なる。」「発達障害の診断はゴールではなく、あくまでも支援のスタートである。」「子どもの状態をとらえることで支援の手立てとなる。」ということを感じ、学ぶことができました。

私たち指導員も、今回の経験を活動に生かしていきたいと思えます。

わわわ隊 福田 克之

青少年センターの班活動について紹介します。
今回は研修班です。

わわわ隊の「め」

わわわ隊のしくみ

どんなことをしているの？

青少年をとりまく問題や、健全育成に必要なことを知り、みんなで考えるために、講演会・研修などを企画・運営しているよ。

研修班

体験活動班

あいさつ巡回活動
(全体活動)

ICT研究班

広報啓発班

「講演会」はどうやって行われるのかな？



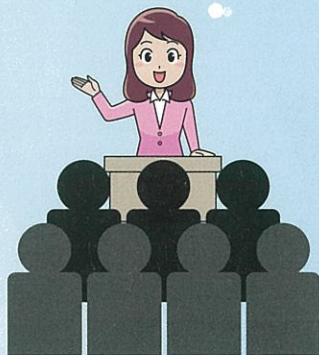
①テーマの決定

みんなで集まって意見を出し合い、そのとき世間で話題になっている青少年の問題などから、テーマを話し合います。



②講師の決定

テーマをもとに講師を決定し、講演会の依頼をします。

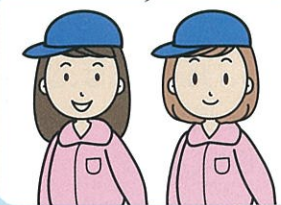


③講演会当日

会場の準備や受付、案内などの役割を分担し、講演会がスムーズに運営できるように努めています。



研修班の影の努力で、こうして講演会が無事行われているんだね。



研修班の中のお二人に話を聞きました。

「講演会は一般の方どなたでも参加できます。それは、普段の生活の中では中々知ることが出来ない子どもたちに関わることを、一人でも多くの人たちに知ってもらいたいからです。子どもたちのことは、自分たち(わわわ隊)だけが知っていればいいのではなく、地域の人に理解してもらうことで、少しでも、地域で子どもたちを育てていくという意識が高まるように努力していきたいです。

講演会が、子どもたちの健全育成を考えるきっかけ“はじめの一歩”になってもらえればと思っています。」

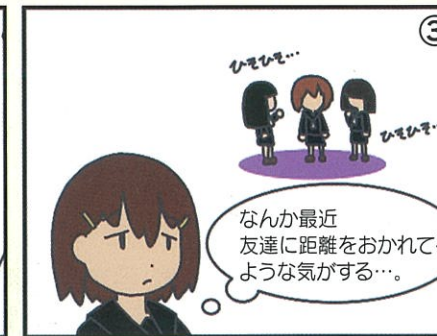
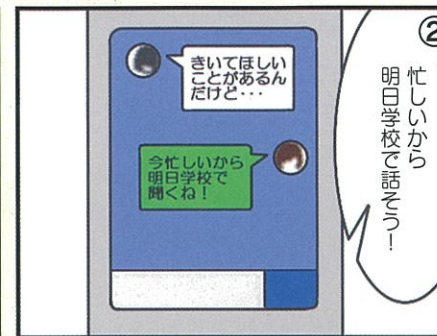
取材 わわわ隊 大河原 千晶

マスミLABOの

情報モラルワンポイントアドバイス



SNSグループ内トラブルの巻



最近SNSのグループから仲間はずれにされているみたいなんです。
グループにすぐ返信しなかったから怒らせてしまったのかな…。

それは大変でしたね。でも、考えすぎかもしれませんよ。ネットでのいじめや仲間はずれは、実に些細なきっかけで始まることが多いです。文字やスタンプだけでは感情が伝わりにくく、受け取る相手によっては不快に思ってしまうことも多々ありますし、既読がついているのに返信が遅くなってしまうと、「返信が面倒くさいんだ…」と思われることもあります。



最近流行しているコミュニケーションアプリでは、別グループを作って悪口を書き込むなど、新たないじめが増えてきています。それが原因で学校に行きづらくなってしまったり、いじめた子が訴えられるという事件に発展したりする場合があります。

このようなアプリでは、リアルタイムのやり取りが可能のため、メッセージへの即座の返信を強く期待する傾向があります。場合によっては、即座に返信することが難しい時もあります。相手の状況を思いやってあげましょう。

保護者の方へ

ネットでのいじめは、いつも仲の良い友人同士やグループの中でも起こります。子どもの表情などの変化を見逃さないようにしましょう。また、スマートフォンを持っていない子が仲間に入れられないというケースもあります。そのような子たちに配慮した使い方を話し合ってみてください。

SNSアプリだけに頼らず、友達と対面して言葉のやり取りをする大切さも伝えましょう。



青少年センター1年間の活動を振り返る

5月

農業体験事業「田植え」実施
上松山小あいさつ巡回活動実施



これからも広報啓発活動を続けていき、青少年健全育成をがんばります。



広報啓発班班長

7月

命を感じる体験事業「魚のつかみ取りなど」実施
市内小中高校(上松山小を除く)あいさつ巡回活動実施
和輪話通信26号発行

体験を通してたくさんの笑顔に会うことができ、とてもうれしかったです。



体験活動班班長



9月

農業体験事業「稲刈り」実施
市内小中高校あいさつ巡回活動実施
体験活動「那須甲子の森でオリエンテーリング」実施
情報交換会(福島地区及び二本松地区少年警察ボランティア会)実施

普段見ることのできない児童施設等の視察ができて良かったです。



研修班班長



11月

市内小中高校あいさつ巡回活動実施
心豊かな青少年を育む「県民のつどいinさくら」開催
和輪話通信27号発行

1月

市内小中高校あいさつ巡回活動実施
視察研修
「栃木県発達障害者支援センターふぉーゆう」
「子ども発達センター(ここ・ほっと)」

2月

和輪話通信28号発行

ICTについてより深く考えた1年でした。



ICT研究班班長



あとがき

私がわわわ隊に入隊してから、まもなく1年が経ちます。
わわわ隊の活動で一番印象に残ったのは、2か月に一度行っている、あいさつ巡回活動です。

朝から大きな声であいさつすることは、とても清々しく、気持ちがいいです。また、子ども達から元気パワーをもらえます。

これからも気軽にできる「社会貢献」
皆勤目指して頑張ります!

わわわ隊
岡村 浩雅

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■広報啓発班

飯島 満・田代 眞澄・大河原 千晶・岡村 浩雅・福田 克之・村上 佳彦

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん
夢咲楽〜和輪話通信〜 第28号
発行日 平成28年2月20日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

次のゆめさくら〜わわわつしん〜は平成28年7月頃に発行予定です